

実施報告書

1 学校名

神岡町立神岡西小学校

2 実施内容

4年生総合的な学習の時間「守れ！神岡の自然を！」におけるインターネットの活用。

- ・神岡町役場と上宏一さんの「水屋」の画像を活用した授業実践

授 業 展 開	IT活用に関して
地域の人々の手で守られている共同水屋について調べよう。 ・神岡になぜ水屋ができたのか調べる。（水屋の歴史について） ・ホームページを閲覧して、名称・場所・数などを調べる。 ○水屋の名称・場所・特徴などを地図に書く。 ・水屋の必要性がわかる。 ・大部分は近くの人たちが水屋を共同で利用しているが、中には個人の所有という泉もある。	・神岡町役場のホームページと上宏一さんのホームページを活用して、自分たちに必要な情報を収集する。

（参照ホームページ）

上宏一さん <http://homepage2.nifty.com/-kami/>

神岡町役場 <http://www.town.kamioka.gifu.jp/>

3 実施時期

平成14年9月24日～27日

4 成果と課題

＜成果＞

これまでの学習では、図書館の本や過去の広報誌で特集された記事を参考にしたり、神岡町役場から資料をもらったりして、水屋について調べてきたが、神岡町役場と上宏一さんの「水屋」の画像を閲覧することで、自分たちが必要としている水屋の情報が容易に入手でき、画像として見られることで、水屋の必要性や特徴などがこれまで以上につかみやすくなり、児童の理解も高まった。

5 今後の方向

今後は、ホームページのデーターから作成した資料をもとに現地に赴き実際に見学して、机上以外でわかることを探したり、近隣に住む人にインタビューして、より深く水屋を理解させたい。また、今と昔の人々のかわらぬ水屋における「思い」についても理解させたい。

実施報告書

1 学校名

神岡町立神岡西小学校

2 実施内容

4年理科の時間「星とその動き；観察結果から星の動き方を考えよう」におけるシミュレータ及びインターネットの活用。

授 業 展 開	I T 活 用 に 関 し て
観察したことから、星の動き方を考えよう。 - 方位ごとに観察した記録を見せ合い、星の動きで気づいたことを話し合う。 - 北・東・西・南とそれぞれの方位で星がどのように動くか予想する。 - マルチメディアボードを用いて「ステラナビゲーター」でのそれぞれの方位で星がどのように動くかをシミュレートして見る。 - 北の空の動きをシミュレートしてみる。時間を短縮して動き方を見る。 「星の動き」について、インターネットで資料をさがし一人一人で調べる。	- 検索ホームページのYahoo!を利用して、「星の動き」についてホームページを見つける。 - 見つけたホームページから必要な情報を集める。

3 実施時期

平成14年10月23日～28日

4 成果と課題

<成果>

- シミュレートしたことで動きを実感することができた。
- ホームページを活用したことで、多様な見所の情報を集めることができ、自分らしい見所の紹介ができた。

<課題>

- シミュレートを一人一人が自分で操作してみることができるとよい。
- まだ、ホームページを十分活用することができない児童もあり、活用の仕方の指導も必要である。

5 今後の方向

- 児童が多様な情報から必要な情報を抜き出すことができる環境の整備。
- 学習ホームページの充実。

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業
実施報告書

1 学校名

神岡町立神岡西小学校

2 実施内容

3年生社会、「トマト農家の仕事」・「高原営農センターの選果場」を見学して、新聞を作ろうにおけるデジタルカメラの活用

授 業 展 開	IT活用に関して
トマト農家新聞を作ってみんなに知らせよう ・社会見学「トマト農家の仕事」にてデジタルカメラによる情報収集 ・社会見学「高原営農センターの選果場」の見学にてデジタルカメラによる情報収集 ・記事づくりをする中で集めた情報をどこに使用するか、新聞レイアウト ・コンピューターから情報を呼び出し、大きさやトリミングをして、その場所に適した情報を印刷 ・記事を書きながら、丁寧に貼り付け。	・子どもたちの集めた情報は、職員室のコンピューターに一括収録し、校内LANでコンピューター室の各自のコンピューターで呼び出し、自分の必要な情報を収集する。

3 実施時期

平成14年度10月23日～11月15日

4 成果と課題

＜成果＞

- ・ デジタルカメラを使用したことで、正確な情報（写真）を得ることができ、新聞の記事づくりもその写真（情報）を見ながら作ることができ、その子の力をフルに出した所見が書けた。
- ・ スケッチ絵でなく、写真であることから、新聞が丁寧さをまし、きれいな仕上がりをみせた。

＜課題＞

- ・ カラープリンターのインクの納入が難しく、デジタルカメラで取った実際の色と異なって印刷が行われることがあり、子どもたちのイメージをこわすことがあった。コンピューターを活用するためには、残る情報が大切。インクの取り替えが十分にできるようにすることが必要。

5 今後の方向

- ・ 児童が多用な情報から正確な情報を得るため環境の整備
- ・ パソコン室まで出向かなくてもできる学級でのパソコン設置

実施報告書

1 学校名

神岡町立神岡西小学校

2 実施内容

3年生国語「みんな、子どもだった」におけるインターネットの活用。

授 業 展 開	I T活用に関して
昔の生活や道具を調べて発表しよう。 ・ ホームページの見方を学習する。 ・ インタビューしたことをもとに、更に出てきた疑問について情報を集める。 ・ 発表に使えるような写真は、収集しておく。 ○ 調べたことを発表できるよう資料を作る。 ・ 昔の生活の様子や道具の、写真や説明を拡大し、発表や掲示のできる資料を作る。 ・ 昔の生活の様子や道具の写真を入れた新聞作りをし、それを使って発表できるようにする。	・ 神岡西小学校のホームページを見ながら、ホームページの見方や、情報収集の仕方を知る。 ・ 検索ホームページのYahoo!を利用して、必要なホームページを見つける。

3 実施時期

平成14年12月2日～6日

4 成果と課題

<成果>

- ・ 絵を描いたり、文字を打ったりする以外のパソコンの活用の仕方を知ることができ、楽しんでホームページを開くことができた。
- ・ ホームページにある画像を活用することで、具体的な物の形や雰囲気を知ることができた。

<課題>

- ・ 自分が必要としているホームページになかなかとり着けないため、教師や友達に頼りがちな児童が多い。
- ・ 必要なホームページを見つけても、自分の疑問に答えてくれる情報を選ぶのに時間がかかる。(情報収集能力が、まだまだ弱い。)

5 今後の方向

- ・ 3年生という時期を考えて、楽しくインターネットを活用できることを目指し、パソコンでの情報収集能力を育てていきたい。